

2019年度 桐朋学園大学大学院 音楽研究科 修士課程 入学試験

音楽史問題

注意事項

- ◇解答者は、開始の合図があるまでは問題を開かないこと。
- ◇各設問の解答は、解答用紙の所定の場所に記入すること。
- ◇開始後61分経過した時点で、退出可能とする。退出する場合は、挙手をして、試験監督の許可を得て、静かに退出すること。
- ◇終了時、解答用紙と問題用紙の両方を回収する。

1. A 群に挙げた 15 人の作曲家について、(1) もっともかかわりの深い作品名を B 群から、(2) もっともかかわりの深い用語を C 群から、(3) もっともかかわりの深い時代を D 群から選びなさい。D 群のみは同一の用語を何度使用しても良い。

A 群

- ①I.ストラヴィンスキー ②W.A.モーツァルト ③M.ムソルグスキー ④G.カッチーニ ⑤武満徹
⑥C.W.グルック ⑦J.ダウランド ⑧P.ブーレーズ ⑨J.-P.ラモー ⑩アダン・ド・ラ・アル
⑪B.スメタナ ⑫G.ガブリエーリ ⑬A.スクリャービン ⑭T. ライリー ⑮R.シューマン

B 群

- (a) 「後宮からの逃走」 (b) 「プロメテ」 (c) 「展覧会の絵」 (d) 「兵士の物語」
(e) 「ピアノとフォルテのソナタ」 (f) 「我が麗しのアマリッリ」 (g) 「ロバンとマリオンの劇」
(h) 「オルフェーオとエウリディーチェ」 (i) 「ノヴェンバー・ステップス」 (j) 「in C」
(k) 「優雅なインドの国々」 (l) 「ヴルダヴァ (モルダウ)」 (m) 「マルトー・サン・メートル」
(n) 「流れよ、我が涙」 (o) 「女の愛と生涯」

C 群

- (ア) コーリ・スペッツァーティ (イ) ミニマル音楽 (ウ) 交響詩 (エ) リュート・ソング
(オ) 神秘和音 (カ) オペラ改革 (キ) ロシア 5 人組 (ク) トルヴェール (ケ) モノディ
(コ) 新古典主義 (サ) 邦楽器 (シ) ブフォン論争 (ス) ジングシュピール (セ) セリー(音列)
(ソ) 連作歌曲集

D 群

- (A) 13 世紀 (B) 16 世紀 (C) 17 世紀 (D) 18 世紀前半 (E) 18 世紀後半 (F) 19 世紀前半
(G) 19 世紀後半 (H) 20 世紀前半 (I) 20 世紀後半

2. 以下の用語から5つ選び、100字以内で説明しなさい。

- ①定旋律ミサ曲
- ②オルガヌム
- ③トラジェディ・リリク
- ④ノート・イネガル
- ⑤トリオ・ソナタ
- ⑥オペラ・ブッフア
- ⑦ライトモティーフ
- ⑧ヴェリズモ
- ⑨12音技法
- ⑩ミュージク・コンクレート

3. 以下の6問より3つを選んで400字以上500字以内で答えなさい。

- ①バロック時代のイタリア・オペラについて述べなさい。
- ②18世紀後期から19世紀初期における起きたシンフォニーの変化について述べなさい。
- ③1830年以降の19世紀のピアノ協奏曲について4人の作曲家を挙げて、各1曲ずつその作品の特質を述べなさい。
- ④1830年から1890年までに作曲されたヴァイオリン協奏曲を3つ挙げて、それらの特徴について論じなさい。
- ⑤20世紀音楽における民族性について論じなさい。
- ⑥電気・電子テクノロジーを用いた音楽作品を3つ挙げて説明しなさい。

